

平成 20 年度県民モニター第 3 回アンケート調査（テーマ：地産地消について）
自由意見への対応状況等について

モニターの皆さんに自由記入いただいた内容に対し、県の対応状況や考え方を示しています。

Q（前問で「地産地消」を実践しようと「思わない」として方へ）その理由は。（選択肢以外で自由記入） （15件記載）			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	地元産品が必ずしも安全・安心とは限らない。	4	既存施策・事業で対応 「食」に対する不安感や不信感を解消するため、食品表示適正化のための量販店等流通関係者への各種指導と併せて、安全・安心でかつ個性・特長のある県産食品を県が確認して兵庫県認証食品として認証し、安定供給を進めます。
2	直売所等が不便な場所で、利用しづらい。	3	既存施策・事業で対応 スーパーなどの量販店内への地元産品取扱コーナーの設置を進めるとともに、都市地域にお住まいの方々にも新鮮でおいしい県産農産物等を届けるよう、都市地域での直売所の設置を支援しています。
3	他県産と比較し、価格面などメリットが少ない。	3	既存施策・事業で対応 「地域の活性化」「環境負荷の軽減」等の意義も含めた普及啓発に取り組みます。
4	地元産に限定せず、その時に欲しいものを買いたい。	1	既存施策・事業で対応 「地域の活性化」「環境負荷の軽減」等の意義も含めた普及啓発に取り組みます。
5	産地だけで品質を判断できない。	1	既存施策・事業で対応 安全・安心でかつ個性・特長のある県産食品を県が確認して兵庫県認証食品として認証し、安定供給を進めます。
6	国内産でさえあればよいと思っている。	1	既存施策・事業で対応 「地域の活性化」「環境負荷の軽減」等の意義も含めた普及啓発に取り組みます。
7	地元産品以外の方がよく売れているという印象がある。	1	既存施策・事業で対応 多様な自然環境のもとで営まれる本県の農林水産業は、全国的にも有名な産品を多く生み出しています。今後とも、県民の皆さんに愛される県産品づくりを支援します。
8	ブランドが確立されているものは他県産を選びたい。	1	既存施策・事業で対応 「地域の活性化」「環境負荷の軽減」等の意義も含めた普及啓発に取り組みます。

Q どのような情報があれば「地産地消」に取り組みやすくなるか。(選択肢以外で自由記入) (27件記載)			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	販売価格の値下げ	8	既存施策・事業で対応 価格を比較される他産地の同一品目でも、味や姿など質の高い農産物づくりを支援します。
2	近隣の量販店等への常設の販売スペースの設置	4	既存施策・事業で対応 スーパーなどの量販店内への地元産品取扱コーナーの設置を進めるとともに、都市地域での直売所の設置を支援します。
3	専売所の整備	3	既存施策・事業で対応 スーパーなどの量販店内への地元産品取扱コーナーの設置を進めるとともに、都市地域での直売所の設置を支援します。
4	近隣への直売所やインショップの設置	3	既存施策・事業で対応 スーパーなどの量販店内への地元産品取扱コーナーの設置を進めるとともに、都市地域での直売所の設置を支援します。
5	地産地消の取り組みは不要	2	既存施策・事業で対応 「地域の活性化」「環境負荷の軽減」等の意義も含めた普及啓発に取り組みます。
6	生産者との交流イベントの企画	1	その他 産地訪問や調理・食品加工講習会などの生産者と消費者の交流活動に積極的に取り組んでいる直売所等もあります。 直売所等の情報提供の際には、消費者向けのPRコメントなども併せて発信していきます。
7	品揃えの充実	1	既存施策・事業で対応 地場野菜の生産体制の整備や、県内への供給体制づくりの推進等により、品揃えの充実を図ります。
8	地域経済へのメリットなど効果のわかる情報	1	既存施策・事業で対応 「地域の活性化」「環境負荷の軽減」等の意義も含めた普及啓発に取り組みます。
9	地元産であるという保証に関する情報	1	既存施策・事業で対応 食品表示適正化のための量販店等流通関係者への各種指導と併せて、安全・安心でかつ個性・特長のある県産食品を県が確認して兵庫県認証食品として認証し、安定供給を進めます。
10	地元の旬の野菜情報	1	既存施策・事業で対応 農産物等直売所・朝市・特産館について、

			場所や季節ごとの取扱品目等の情報を提供していきます。
1 1	インターネット販売の情報	1	その他 直売所等の運営上の課題としてインターネット通販を挙げる開設者や運営者もあります。 直売所等でHPのあるところは、情報提供の際にリンクを張り、消費者向けのPRコメントなども併せて発信していきます。
1 2	近隣の直売所等の情報のメール配信	1	その他 農産物等直売所・朝市・特産館について、場所や季節ごとの取扱品目等の情報を兵庫県HPで提供しています。

Q 「地産地消」の推進に効果的な取り組みとは。(選択肢以外で自由記入) (70件記載)			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	生産者への支援を図る。	10	既存施策・事業で対応 地域の特性を生かした力強い農林水産業を展開するために、生産者や地域の主体性と創意工夫が発揮されるよう担い手への支援や県民の皆さんに愛される県産品づくりを支援します。
2	広報、PRを強化する。	9	既存施策・事業で対応 民間企業等の情報発信力を活用して、効果的・効率的な地産地消の普及啓発を行い、消費者の主体的な地産地消実践活動を促すことにより、農林水産業と県民生活の結びつきを強め、将来にわたって県内の生産者と消費者がともに支えあう関係づくりを推進します。
3	中・小規模でいいので、販売所を増やす。	6	既存施策・事業で対応 スーパーなどの量販店内への地元産品取扱コーナーの設置を進めるとともに、都市地域での直売所の設置を支援します。
4	地元産品が安全・安心であるという保証制度をつくる。	5	既存施策・事業で対応 食品表示適正化のための量販店等流通関係者への各種指導と併せて、安全・安心でかつ個性・特長のある県産食品を県が確認して兵庫県認証食品として認証し、安定供給を進めます。
5	販売価格を下げる。	4	既存施策・事業で対応 価格を比較される他産地の同一品目でも、味や姿など質の高い農産物づくりを支援します。

6	スーパーなど量販店での取扱量を増やす。	4	既存施策・事業で対応 スーパーなどの量販店内への地元産品取扱コーナーの設置を進めるとともに、都市地域での直売所の設置を支援します。
7	生産者から消費者への直売を推進する。	4	既存施策・事業で対応 新鮮でおいしい県産農産物等を、県内の産地から直接都市地域の県民の皆さんに届けるよう、都市地域での直売施設の整備を支援します。
8	「朝市」など直売イベントを実施する。	4	その他 商業施設や各種イベントなどへの出張販売に取り組んでいる直売所等もあります。 農産物等直売所・朝市・特産館について、場所や季節ごとの取扱品目等の情報を兵庫県HPで提供していきます。
9	廃棄処分している野菜についても有効活用を検討すべきである。	3	既存施策・事業で対応 生産・加工・流通・消費の各段階から発生する廃棄物や未利用資源を再利用するゼロエミッション（廃棄物ゼロ）を進め、循環型社会の実現を目指します。
10	ポイント制や景品など地元産品に付加価値を付けて販売する。	3	その他 特典の付与など顧客の会員登録制度を導入している直売所等もあります。 直売所等の情報提供の際には、消費者向けのPRコメントなども併せて発信していきます。
11	農協や生協との連携を推進する。	2	既存施策・事業で対応 産地づくりや流通指導において、農協や生協が入った中で、品目の選定や安定した農産物づくりを支援します。
12	学校給食に取り入れる。	2	既存施策・事業で対応 学校給食に地産地消の仕組みを取り入れ、身近な食材に接することを通して、児童・生徒の食と農林水産業への理解を深めるため、県産農林水産物の生産・供給・活用促進のための体制づくりや、県産農林水産物を活用した学校給食を通じた食育を進めています。
13	生産者や販売者等に対して品質管理の努力を促す。	2	既存施策・事業で対応 行政と生産者が連携して、生産段階では、農薬・肥料・動物用医薬品等の適正使用や畜産農家への衛生管理手法の導入、貝毒検査の実施などの取組、製造・加工、流通段階では、食品の製造・加工施設や卸売市場などの流通施設において、高度な食品衛生・品質管理手法等の導入や行動規範づくりなど自主的な取組を進めています。

14	学校教育に取り入れる。	2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>学校給食法が一部改正され、学校給食を活用した食に関する指導の充実を図る等の措置が講じられました。</p> <p>身近な食材に接することを通して、児童・生徒の食と農林水産業への理解を深めるため、地産地消による学校給食を進めていきます。</p>
15	生産者や販売者の意欲を高める仕組みをつくる。	2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>県産農林水産物を活用した加工品開発の支援や品位査定会などを実施し意欲を高めます。</p>
16	商品の値下げなどにつなげるため、インターネットを有効活用する。	2	<p>その他</p> <p>インターネットのショッピングモール「楽天市場」に県産品の販売や観光情報の提供などを行うサイト「まち楽兵庫」が設立されました。</p> <p>今後とも兵庫県の特産品などインターネットを活用した情報発信に努めます。</p>
17	休耕田の活用を進める。	2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>遊休農地を活用して集落が実施する農作業体験や、企業の農業への参入などを支援しています。</p>
18	NPOとの連携を推進する。	1	<p>拡充施策・事業で対応</p> <p>都市地域における直売（直買）活動を促進するため、NPO等が都市地域での直売所を設置する場合の支援を行います。</p>
19	よい品物は県外に出荷したり、逆に県外から取り入れたりする取り組みも必要である。	1	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>多様な自然環境のもとで営まれる多彩なひょうごの農林水産業は、全国的に有名な産物を生み出しています。全国上位を占めるそれらの産物を「ひょうごの特産品」として売り出す取組が始まり、ひょうごブランドの確立を目指しています。</p>
20	地元産品の宅配制度を設ける。	1	<p>その他</p> <p>直売所等の運営上の課題としてインターネット通販を挙げる開設者や運営者もあります。</p> <p>直売所等でHPのあるところは、情報提供の際にリンクを張り、消費者向けのPRコメントなども併せて発信していきます。</p>
21	地産地消にこだわる必要はない。	1	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>「地域の活性化」「環境負荷の軽減」等の意義も含めた普及啓発に取り組みます。</p>